

### 地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	兵庫県庁	代表者名	齋藤 元彦
担当者部署	企画県民部	連絡先電話番号	078-362-9202
担当者役職	情報専門官	担当者氏名	日坂 英則
住所	650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1		

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	古川 泰人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	単にGISに関する操作方法ではなく、位置情報をものにするための前提条件としての「データドリブン/DXのキモ」「データと地図」「どんなツールと事例があるの」「これからどうすればいいの」といったことを含め「行政としてのこころ構え」などについての研修を中心に行っていただき、そもそもの我々が着眼すべきポイントについて、明確にさせていただいた内容でした。また、途中、アイスブレイク的なお話も交えながらご対応いただき、受講者があきない進め方で、かつ内容も我々が理解しやすい内容にアレンジしていただき、非常に良い研修内容でした。
アドバイザーへの要望事項	どうしても研修受講者は、着眼点がQGISの操作方法に関して聞きたいという意見も多くあったため、もう少し、QGISに関する操作方法について、時間を割いていただくとよかったです。

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2021年12月23日	10時00分	16時15分	110	265
3-2. 派遣場所	会場名	兵庫県庁内OAセンター		最寄駅	JR元町駅
	所在地	神戸市中央区下山手通5-10-1 県庁3号館12階		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	支援・助言（実地）			

#### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	兵庫県職員（県庁・県民局等職員）	52人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	約500名弱の県職員がQGISのユーザーとして登録しているが、そのうち約35%は操作方法、活用方法がわからないという9月のアンケート結果が出ており、そもそも何が出来るのか、どんなことに活用できるのかということが理解できていない職員がいる状態でした。また、ツールから入っている職員がほとんどで、データの理解から入ることができておらず、単にツールの使い方に固執する職員がほとんどでした。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	データの重要性や種類を理解し、何に使えるかという意志と地図ソフト（QGIS）の組み合わせにより、県民に対し有益な情報提供がフレキシブルに対応出来る県庁体制の構築です。QGISユーザーひとりひとりがデータと地図情報の活用により、QGISの伝道者となり得るような体制を目指していきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図情報を扱う前に、データに対する意識付け。「データドリブン/DXのキモ」「データと地図」「どんなツールと事例があるの」「これからどうすればいいの」についてQGIS初心者やQGIS玄人含めて具体的な事例を紹介いただきながら研修いただきました。</li> <li>・後半では、QGIS活用における疑問点についてのFAQ会を実施いただきました。</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QGISを使うにあたっては、まずデータを理解し整備することが必要であること。</li> <li>・何のためにデジタルを使うのか。主役は県民。</li> <li>・オープンデータの有効性。</li> <li>・QGISの有用性を理解すること。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	QGISを含めたデータ利活用の意義の共有	

<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>・GISソフトの操作についての要望がアンケートの結果からも多く出ているため、操作説明に特化した研修の実施。 ・既にある基礎的操作の動画の紹介。・YouTubeに上がっている操作説明の紹介。 ※オンライン研修での受講する側の操作対応を検討したいが、オンライン研修では双方向での操作に限界があるため、試行錯誤しながら伝わりやすい方法を策定していきたい。</p>	
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果として、不満者と満足者が極端に分かれた。原因は事務局側のアナウンスにもあったが、純粋に操作研修を目論んでいた方は総じて「不満」に傾いていましたが、初心者は総じて「満足」に傾いていた。 ※アンケート集計結果添付</p>	
<p>5-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものリストより選択下さい</p>	<p>④予算以外で、今後取組む事項がある</p>
<p>事業の最終的な目指す姿</p>	<p>次年度の研修計画を今回の研修を踏まえ立案し、次年度以降はデータ利活用とQGIS操作研修を明確に分けて実施していく計画を本年度中に立案する</p>	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

